

## 和歌山病院での実習を終えて



北原 大幹

今回、二日間和歌山病院で実習をさせていただきましたが、先生方のわかりやすいセミナーや南方院長の講義を聞かせていただき、自分で考える力を付けることができたと思います。また、身体を動かして肺の区域を覚える体操では、楽しむことを交えて勉強することができたので、今後忘れることなく今回学んだことを活かしていきたいです。今回教えてもらった体操は毎日忘れることなく一日 50 回できるように頑張ります。

レントゲンの講義について、普段何気なく見ているレントゲンを基礎から教えていただき、レントゲンを見るのが苦手だった私は、院長の講義のおかげで苦手意識がなくなりました。この講義を通して、自分たちで考え、答えが出なくても自分の考えを見つけることの重要性について学ばせていただきました。普段、座学で一字一句丸暗記していた自分の頭がいかに硬くなっているのか、そしていかに柔軟性を身につけなくてはいけないかを痛感させられました。

結核の講義について、国家試験に必須である知識、さらに空気感染と飛沫感染の違い、その対策をどのようにしているのか教えていただきました。実際に結核病棟を見て回ること、強く印象に残り、今後忘れることなく、国家試験に挑むことができると思います。

先生に患者役をしていただき、自分たちで問診することによって病気を考え、その治療について考える講義も受けさせていただきました。自分たちで考える力をつけることができ、とても貴重な講義だったと感じます。普段患者さんに問診していることだけでは足りないことを痛感し、患者さんの病気をいかに正確に知るかということの大切さについて再確認しました。

他病院での実習は大学のポリクリではあまりありません。病院に泊まりで行くことで、いつもと違った実習をすることができ、非常に楽しかったです。晩御飯にも連れて行っていただきありがとうございました。とてもおいしかったです。お酒を交えて先生とお話できたことは、講義とは違った楽しさを味わうことができ、生涯の思い出となりました。また今後伺う機会もあると思いますので、その時はどうぞよろしくお願いいたします。この貴重な体験を活かして、残りのポリクリ、そして卒業試験と国家試験を頑張っていきたいと思います。短い間でしたが二日間本当にありがとうございました。